Arakawa Yuen Amusement Park
Sumidagawa River
Toden Arakawa Line
Nurie Art Museum
Kitasenju Sta.
Machiya Sta.
Arakawa Furusato Museum
Susanoo-jinja Shrine
Monjayaki
Yuinomori Arakawa Library
Mikawashima Water Reclamation Center
Statue of Matsuo Basho
Yanaka Town
Nishinippori Sta.
Mikawashima Sta.
Minamisenju Sta.
Statue of Ota Dokan
Nippori Sta.
Minowa Sta.
Korean Restaurants
Nippori Fabric Town
Ueno Zoo
Sensoji Temple
Tokyo Skytree®
Ueno Sta.
Korakuen Sta.
Asakusa Sta.
Oshiage Sta.
Okachimachi Sta.
TOKYO DOME
Tokyo Dome City
Welcome to Arakawa
おいでよ！
あらかわ
Ryogoku
Imperial Palace
Tokyo Sta.

荒川区は、古くからの歴史や下町風情を随所に残しつつ、各地域の新しいまちづくりも進んだ、懐かしさと新しさが混ざり合った、人と人とのふれあいを大切にしているまちです。

荒川区には、都電荒川線・あらかわ遊園・隅田川・伝統工芸等、地域を象徴する様々な観光や歴史的資源があります。

また、各地域で培われてきた固有の歴史・伝統・文化・産業や下町の人情等も、区が誇れる貴重な資源です。

ぜひ、実際に荒川区に足を運んでいただき、その魅力を感じてください。

⚠本誌に掲載されている情報は、令和２年３月現在のものです。発行後、内容に変更が生じる場合があります。

｜区の木｜サクラ

｜区の花｜ツツジ

川の手荒川まつり
｜開催日｜毎年４月29日

荒川区シンボルキャラクター

あらみぃ

荒川区の魅力
1

都電荒川線

都電荒川線は、三ノ輪橋（荒川区）から早稲田（新宿区）までの 12.2km（30停留場）を約60分で結ぶ路面電車です。荒川区内の沿線では、花の時季に「花の観光地づくり大賞」を受賞した約140種、約13,000本のバラが咲き誇ります。5月中旬から6月上旬、10月中旬から11月上旬が見頃です。

特別車両の運行

都電荒川線では、期間限定で、車内に特別な装飾を施した車両を運行しています。

｜年間の運行予定｜
- ・都電さくら号　3月中旬～4月中旬
- ・都電バラ号　5月
- ・都電ハロウィン号　10月

｜運行車両｜
9001形（赤いレトロ車両）もしくは
9002形（青いレトロ車両）

沿線のスポット

都電おもいで広場
（荒川車庫前停留場）

東京都交通局荒川電車営業所内にある都電おもいで広場では、懐かしい停留場をイメージしたスペースに貴重な都電の旧型車両２両が展示されており、車内には都電の昔懐かしい写真が展示されています。また、６月10日の「路面電車の日」や10月１日の「荒川線の日」を記念したイベントが開催されています。

| 開場日 | 年末年始を除く土曜日、日曜日、祝日

☞ P9 マップ参照

下町都電ミニ資料館
（あらかわ遊園内）

あらかわ遊園内にある下町都電ミニ資料館では、都電模型や東京都交通局から提供された昔懐かしい都電関連品の数々を常設展示するとともに、鉄道資料（図書）室を併設しています。また、鉄道模型運転場では、お子様を対象にＮゲージの運転ができます。

⚠現在リニューアル工事のため、休館中。リニューアルオープンは、令和３年（2021）の夏頃を予定。

☞ P9 マップ参照

三ノ輪橋おもいで館
（三ノ輪橋停留場）

三ノ輪橋停留場は、関東の駅 100 選の一つで、平成19年（2007）に昭和30年代頃をイメージしたレトロ調のデザインに改修されました。隣接する三ノ輪橋おもいで館では、都営交通に関する案内や、観光パンフレットの配布、１日乗車券や定期券・グッズ等の販売を行っています。

| 定休日 | 火曜日、水曜日（祝日の場合は営業）、年末年始

☞ P13 マップ参照

荒川区の魅力
2

俳句のまち あらかわ

荒川区は、松尾芭蕉や小林一茶、正岡子規等、著名な俳人が多くの俳句を詠んだ地であり、区内各地に句碑が建立されています。「俳句のまち あらかわ」を宣言し、区内の写真と俳句を組み合わせた「俳句のまちあらかわフォト俳句コンテスト」等、俳句にまつわる様々なイベントを開催しています。

気軽に俳句を
詠んでみよう！

松山市観光俳句ポスト

あらかわ俳壇投句箱

左：正岡子規の俳句「芋阪も団子も月のゆかりかな」や夏目漱石の「吾輩は猫である」の作中に登場する羽二重団子本店には、子規や漱石ゆかりの愛媛県松山市の観光俳句ポストが設置されています。ここに投句された俳句は、3ヶ月に1度松山市に送られ選句が行われます。

☞ P 11マップ参照

右：区内各図書館、ゆいの森あらかわ等に、投句箱を設置しています。年に4回開催されるあらかわ俳壇や、シダレザクラ祭りのさくら投句会へ、この投句箱から投句することができます。

☞ P9-14 マップ参照

荒川区の魅力
3

もんじゃ焼き

各店舗の詳細は
荒川区観光アプリ
（P6）でチェック！

荒川区には、荒川・町屋エリアを中心にもんじゃ焼き屋がたくさんあるのをご存知ですか？
定番から変わり種まで、店舗ごとに個性豊かなもんじゃ焼きがあるので、お気に入りを見つけてみてください。

かつて駄菓子屋がたくさんあった荒川・町屋エリア。
もんじゃ焼きは昔から子どもたちのおやつでした。

荒川区の魅力
4

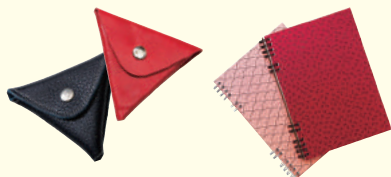
商店街

荒川区には、下町風情溢れる商店街がたくさんあります。現在、荒川区商店街連合会には40の商店街が加盟しています。テレビドラマやコマーシャル等のロケ地になることも多く、区内のあちこちの商店街がよく登場しています。買い物をしたくなる、楽しくなる、また来たくなる魅力あふれる荒川区の商店街に、ぜひお越しください。

荒川区の魅力
5

モノづくり見学・体験スポット

「モノづくりのまち」荒川区では、区内で製造・販売され、区民に親しまれている優れた製品を「荒川ブランド」として区内外へ積極的に紹介しています。また、荒川区のモノづくりをさらに多くの方に知っていただくために、事業主さんのご協力をいただき、製造工程の見学やモノづくりの体験ができる工場・工房等を、「モノづくり見学・体験スポット」としてご紹介しています。

この看板が目印！

オリジナルリングノートづくり体験・彫金指輪づくり体験・革小物づくり体験等、実際に自分の手で触れて作ってみると、モノづくりの難しさや技術の高さが実感できます。

詳細はモノづくり見学・体験スポットガイドをチェック！

あらかわの伝統技術展

荒川総合スポーツセンター

荒川区在住の伝統工芸技術保持者を中心に、荒川マイスターや区内外の伝統工芸職人が集まり実演・展示・販売を行います。

｜開催時期｜７月（令和２年度は６月）

荒川区観光アプリ「あらかわさんぽ」

荒川区観光アプリ「あらかわさんぽ」は、おでかけや観光に役立つおすすめの情報を検索できるスマートフォン用アプリケーションです。区内の公園や観光スポット等をアプリで紹介しているほか、浮世絵マップやフォトラリー等、散策を楽しむための機能があります。

※画面はイメージです。

**App Store、Google Play から「あらかわさんぽ」で検索。
または、こちらのQRコードからアクセスできます。**

- 歩きながらの利用は危険です。安全な場所で立ち止まってご利用ください。
- 情報料は無料です。ただし、通信料はご利用になる方の負担となります。
- 通信環境や機種、OS のバージョン等によっては、作動しない場合があります。

荒川区観光ボランティアガイド

区内の観光スポットや史跡・文化財等を「荒川区観光ボランティアガイド」がご案内します。荒川区をまちあるきされる際には、ぜひご利用ください！

お申込方法

ご利用希望日の２週間前までに、「荒川区観光ボランティアガイドの会事務局」まで、お電話・FAX・メールにてお申し込みください。日程・コース等ご希望をお伺いします。

ご利用できる方

団体（原則８名以上）でお申し込みください。

ご利用できる日

年末年始（12月29日～1月3日）、
お盆（7月13日～16日）及び８月を除く通年

ご利用時間

午前９時 30 分から午後４時までの間の３時間以内（ご相談に応じます）。

ご利用料金等

ガイド料金は無料です。資料等の配布も原則無料です。ただし、公共交通機関への乗車や入館料・拝観料・線香代等を必要とする場所でのガイドを希望される際は、担当ガイド分をご負担いただく場合があります。

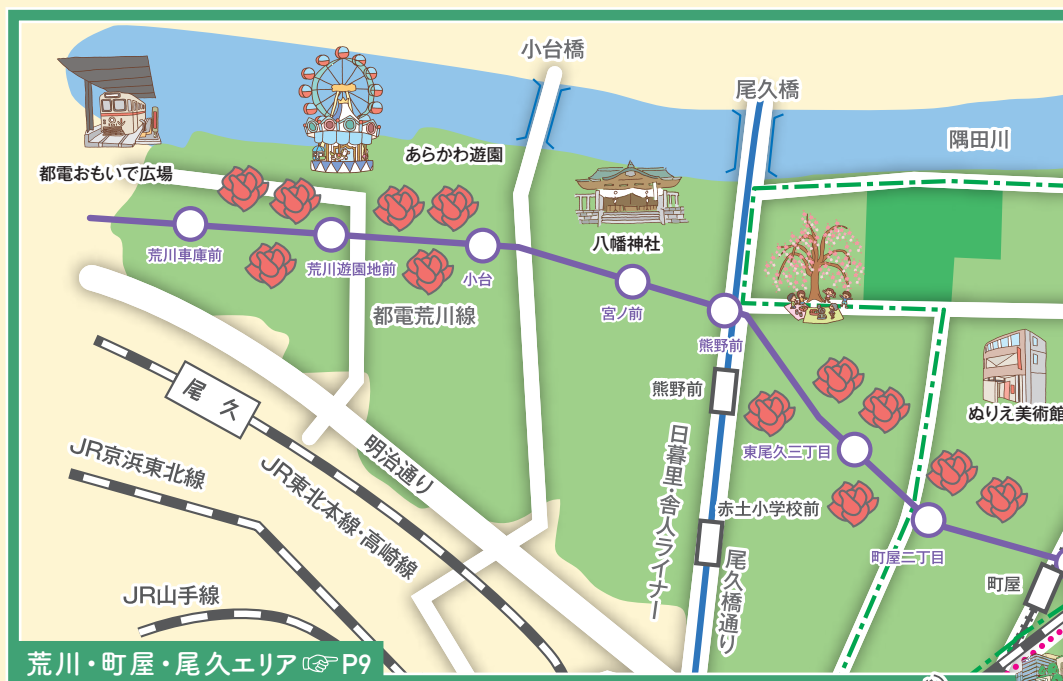
お申込み・お問合せ

荒川区観光ボランティアガイドの会事務局
（荒川区産業経済部観光振興課内）
ＴＥＬ 03-3802-4689
ＦＡＸ 03-3803-2333
メール kankou@city.arakawa.tokyo.jp

あらかわ観光マップ

小台橋
尾久橋
隅田川
都電おもいで広場
あらかわ遊園
八幡神社
荒川車庫前
荒川遊園地前
小台
宮ノ前
熊野前
都電荒川線
熊野前
日暮里・舎人ライナー
東尾久三丁目
ぬりえ美術館
赤土小学校前
町屋二丁目
町屋
尾久橋通り
尾久
明治通り
JR京浜東北線
JR東北本線・高崎線
JR山手線

荒川・町屋・尾久エリア☞P9

田端

シェアサイクルで区内を巡ろう！

荒川区では、シェアサイクルを利用できます。シェアサイクルは、専用のサイクルポートであれば、区内・区外を問わず相互乗入れができます。乗捨て利用ができるため、区内を巡るツアーにぴったりです。

☞詳細はこちら

東　京
徒 歩
大手町
東京メトロ千代田線
約13分
町　屋
JR山手線
約4分
秋葉原
つくばエクスプレス
約8分
南千住
JR山手線
約12分
羽田空港
京浜急行線
約23分
品　川
JR山手線
約24分
日暮里
成田空港
京成スカイライナー
約36分
日暮里・舎人ライナー
都電荒川線
東京メトロ千代田線
JR常磐線
東京メトロ日比谷線
京成本線（成田スカイアクセス線）
JR宇都宮線・高崎線
つくばエクスプレス（TX）
JR中央線
成田エクスプレス
東京モノレール
京浜急行線
JR山手線
尾久
熊野前
赤土小学校前
北千住
町屋
新三河島
西日暮里
日暮里
三河島
南千住
三ノ輪
池袋
上野
浅草
秋葉原
成田空港
新宿
大手町
東京
渋谷
浜松町
品川
羽田空港
荒川区
東京都
尾竹橋
コミュニティバス町屋さくら（ ）
尾竹橋通り
コミュニティバスさくら（ ）
町屋駅前
京成町屋
荒川七丁目
荒川ふるさと文化館
森あらかわ
荒川二丁目
三河島水再生センター
荒川区役所前
荒川一中前
三ノ輪橋
JR常磐線
三ノ輪
つくばエクスプレス
日暮里エリア ☞P11
千住大橋
素盞雄神社
日光街道
東京メトロ日比谷線
松尾芭蕉像
南千住
千住汐入大橋
水神大橋
川の手通り
コミュニティバス汐入さくら（ ）
白鬚橋
南千住エリア ☞P13

荒川エリア　町屋エリア　尾久エリア

下町都電ミニ資料館（P3）
都電おもいで広場（P3）
尾久図書館（P4 投句箱）
隅田川
町屋図書館（P4 投句箱）
荒川車庫前
荒川遊園地前
小台
宮ノ前
熊野前
都電荒川線
熊野前
尾久
明治通り
JR京浜東北線
JR東北本線・高崎線
JR山手線
日暮里・舎人ライナー
東尾久三丁目
赤土小学校前
尾久橋通り
町屋二丁目
町屋駅前
町屋
町屋文化センター（P4 投句箱）
田端
ゆいの森あらかわ（P4 投句箱）
京成本線（成田スカイアクセス線）
東京メトロ千代田線
新三河島
荒川区役所（P4 投句箱）
西日暮里
生涯学習センター（P4 投句箱）

①八幡神社

（西尾久3-7-3）

創建は定かではないですが、鎌倉時代末期の正和元年（1312）に尾久が鎌倉の鶴岡八幡宮の領地になった頃と推定されています。尾久の総鎮守であり、農業・工業・商業の神様として親しまれています。8月の第1土曜日・日曜日に例大祭が行われ、4年に1度の神幸祭は、山車や馬等の行列が尾久地域をねり歩きます。

②あらかわ遊園

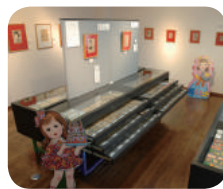
（西尾久6-35-11）

観覧車や、日本一遅いコースター、どうぶつ広場等があります。

⚠現在リニューアル工事のため、休園中。リニューアルオープンは、令和3年（2021）の夏頃を予定。

③都立尾久の原公園

（東尾久7-1）

シダレザクラの名所であるほか、芝生広場やはらっぱ・クローバーの広場等があり、四季折々の自然を楽しむことができます。遊具等の施設はあまりありませんが、自由にのびのびと走り回って遊ぶことができます。雨水が溜まってできた池と湿地の辺りは、数種類のトンボが生息し、観察ができます。

④ぬりえ美術館

（町屋4-11-8）

日本で唯一のぬりえ専門の美術館です。昭和20～30年代に人気を博した「きいちのぬりえ」を中心に、日本と海外のぬりえを収集・展示しています。

｜開館日｜土曜日、日曜日
｜開館時間｜正午～午後6時（3月～10月）、午前11時～午後5時（11月～2月）
｜入館料｜大人（中学生以上）500円、小学生100円、未就学児無料

荒川エリアは、家々の間の細い路地を通ると、季節の草花を置いた軒先や昔ながらの町工場が点在する、下町らしい地域です。商店街は、毎日活気に溢れています。
町屋エリアは、都電荒川線・京成本線・東京メトロ千代田線の結節駅があり、都心へのアクセスが大変良い地域です。日本で唯一の「ぬりえ美術館」や、若手作家を応援するお店等もあり、下町文化を支える土壌が息づく地域です。
尾久エリアと言えば、「あらかわ遊園」。23 区唯一の区営遊園地は、荒川区の一押しスポットです。

シダレザクラ祭り

（都立尾久の原公園）

シダレザクラ祭りは、都立尾久の原公園周辺と隅田川を見渡せる堤防に植栽された257本のシダレザクラが咲き誇る頃、毎年開催されます。ステージショーや模擬店の出店等が行われます。

｜開催時期｜４月上旬

バラの育て方
講習会も好評です

あらかわバラの市

（都電荒川線町屋駅前停留場周辺）

都電荒川線沿線にバラの花が咲き誇る頃、毎年開催されるイベントです。バラ鉢の販売や、地元商店によるバラ関連商品の販売が行われます。

｜開催時期｜５月中旬

5 ゆいの森あらかわ

（荒川2-50-1）

約60万冊の蔵書規模を誇る中央図書館、荒川区出身の作家・吉村昭氏の記念文学館、体験キットやワークショップ等が楽しめる学びラウンジや乳幼児が親子で雨の日でも安心して遊べる遊びラウンジが一体となった複合施設です。

｜開館時間｜午前9時30分~午後8時30分
｜休館日｜第３木曜日、特別整理日、年末年始ほか

6 三河島水再生センター

（荒川8-25-1）

大正11年（1922）に稼働を開始した、日本で最初の近代的な水再生施設です。国の重要文化財である赤レンガ造りの旧三河島汚水処分場喞筒（ポンプ）場施設や、下水処理過程は、見学できます（予約制）。

⚠旧三河島汚水処分場喞筒（ポンプ）場見学予約（火・金を除く）
｜問合せ｜03-6458-3940
⚠処理施設見学予約（平日のみ）
｜問合せ｜03-3241-0944

7 荒川自然公園

（荒川 8-25-3）

東京都の「新東京百景」に選ばれた公園には、荒川区の地形をかたどった人工池や、楽しく交通ルールが学べる交通園等があります。

｜休園日｜第１・第３木曜日
（祝日の場合はその翌日）

日暮里エリア

日暮里道灌まつり

（日暮里駅前イベント広場）

太田道灌は、室町時代後期から戦国時代初期に活躍した武将で、江戸城を築いたことでも知られ、人々に親しまれてきました。 道灌は、荒川区内の西日暮里四丁目付近に砦を築いたと言われており、西日暮里駅北西部の高台の地域一帯は、道灌山と呼ばれています。日暮里道灌まつりでは太田道灌ゆかりの自治体・店舗による物販・ＰＲ等が行われます。｜開催時期｜ 11月

❶太田道灌像「回天一枝」

日暮里駅東口ロータリーにある太田道灌のブロンズ像は、僧侶にして彫刻家であった橋本活道氏により作られました。

❷「山吹の花一枝」像

「山吹の花一枝」像は、「山吹の里伝説」で道灌に山吹の花を捧げた娘の姿を表現した作品で、彫刻家の平野千里氏により作られました。

日暮里エリアは、江戸時代中期以降、「1日過ごしても飽きない里」という意味で「ひぐらしの里」と呼ばれるようになりました。これに呼応して、明治10年（1877）、もともと「新堀」であったこの一帯が「日暮里」と正式に表記されるようになりました。再開発により近代的景観を持つ日暮里ですが、駅を降りれば、繊維問屋街や谷中等、昔ながらの街並みがすぐそこに。まち歩きに最適な、「新しくて懐かしい」日暮里エリアです。

❸日暮里繊維街

（東日暮里3～6丁目付近）

両側約1kmにわたって、生地織物の店が立ち並び、生地織物に関するものなら何でも揃います。日暮里繊維街の名を全国にアピールするため、デザインコンテストとファッションショーが開催されています。

絶好の電車撮影スポット！

❹下御隠殿橋・トレインミュージアム

（西日暮里2-58）

日暮里駅の東西を結ぶ跨線橋「下御隠殿橋」。この橋の中程には「トレインミュージアム」と呼ばれるバルコニーがあり、ＪＲ線（新幹線・在来線）・京成線（成田スカイアクセス線）等、1日に21種類、約2,500本の列車を見ることができます。

❺日暮里観光案内所

（日暮里駅京成北口改札前）

日暮里駅構内に設置している「日暮里観光案内所」では、観光パンフレットの配布やスタッフによる案内等を行っています。外国語での対応も可能ですので、荒川区にお越しの際は、まずはこちらで情報収集をしてみてはいかがでしょうか。

｜営業時間｜午前10時～午後4時

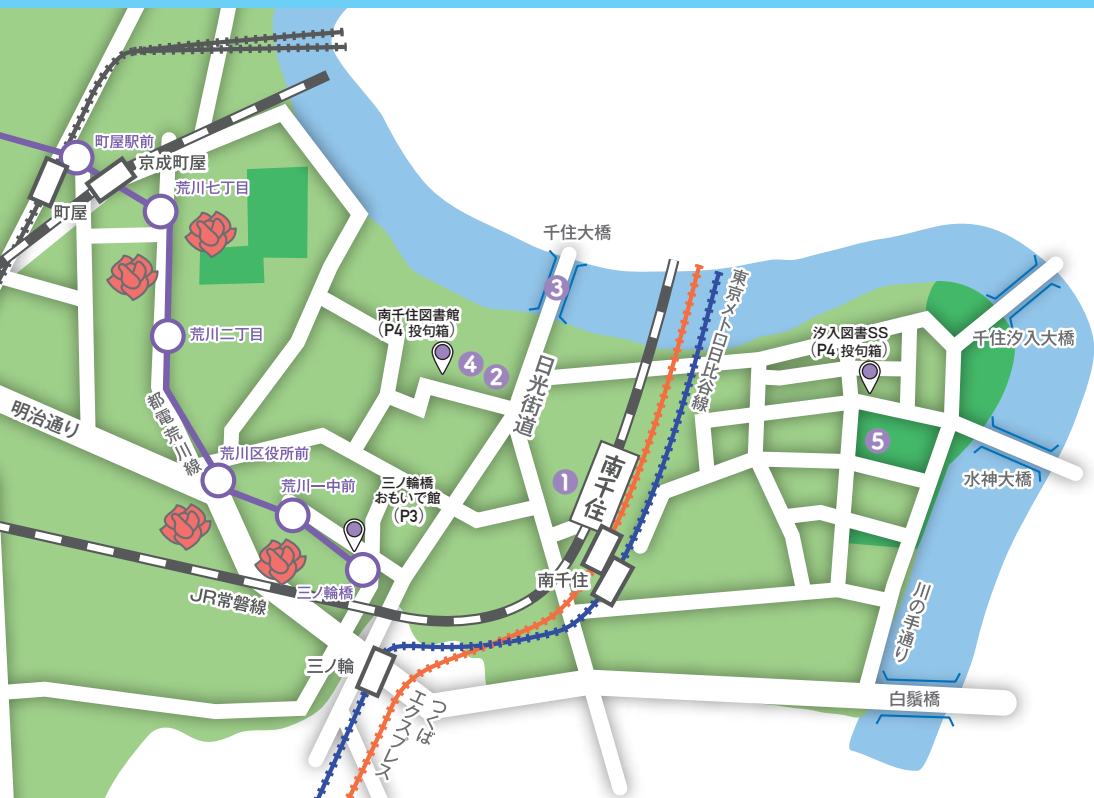
｜定休日｜年末年始

❻夕やけだんだんと谷中ぎんざ

（西日暮里3丁目～台東区谷中3丁目付近）

「夕やけだんだん」は、美しい夕焼けを眺められる階段で、一般公募により命名されました。レトロな雰囲気が漂う谷中ぎんざ（谷中銀座商店街）の店先の屋根の上には、猫のオブジェ（木製彫刻）がいるのでみつけてみてください。

南千住エリア

町屋駅前
京成町屋
荒川七丁目
町屋
千住大橋
南千住図書館（P4 投句箱）
東京メトロ日比谷線
汐入図書SS（P4 投句箱）
千住汐入大橋
荒川二丁目
日光街道
明治通り
都電荒川線
荒川区役所前
三ノ輪橋おもいで館（P3）
荒川一中前
南千住
水神大橋
JR常磐線
三ノ輪橋
三ノ輪
つくばエクスプレス
川の手通り
白鬚橋

❶松尾芭蕉像

（南千住 4-5 南千住駅西口ロータリー）

元禄2年（1689）３月27日（新暦 5月16日）、 松尾芭蕉は千住大橋の南詰で船を上り、南千住の地から奥の細道の旅へと出立ちました。平成27年３月の「奥の細道サミット」の開催を記念して建立されたブロンズ像は、彫刻家の平野千里氏により作られました。

❷素盞雄神社（すさのお）

（南千住6-60-1）

区内で最も広い61ケ町(南千住・三ノ輪、三河島、町屋)に氏子域を持つ神社です。松尾芭蕉「奥の細道」旅立ちの句を刻む矢立初めの句碑（区指定文化財）は、文政３年（1820）に千住宿に集う文人たちによって建てられました。

❸千住大橋

（南千住6-71 付近）

文禄３年（1594）、徳川家康が江戸に入って初めて架けた橋です。ここは江戸の北の玄関口であり、松尾芭蕉もここから奥州へと旅立ちました。
歌川広重の名所江戸百景「千住の大はし」にも描かれています。

南千住エリアは古代以来、水陸の交通の拠点として、また、江戸から日光へ通じる日光道中最初の宿場町として栄えてきました。現在では、これらの歴史の跡が残る地域と、再開発により大規模なまちづくりが進む汐入地域ニュータウンと、異なる表情を楽しむことができます。

❹荒川ふるさと文化館

（南千住6-63-1）

荒川区の歴史・文化を学び、探求できる施設です。荒川区内で発掘された遺跡からの出土品、中世の板碑、近世の町や農村の暮らし、銭座の作業風景、昭和41年頃の復元家屋や奥の細道に関する資料等を常設展示し、年３回企画展や館蔵資料展を開催しています。また、あらかわ伝統工芸ギャラリー（無料）では、区内の職人の作品を展示しているほか、月１回程度実演とワークショップを行っています。

｜開館時間｜午前９時30分～午後５時

｜観覧料｜ 100円

｜休館日｜月曜日（祝日、振替休日の場合はその翌日）、第２木曜日（館内整理日）、年末年始

隅田川沿いからは
東京スカイツリー®が見えます。

❺都立汐入公園

（南千住8-7・13～16）

隅田川に沿った形で造られたこの公園は、南千住８丁目の白鬚西地区市街地再開発事業で整備された広さ12.9ヘクタールの都立公園です。園内は、芝生が心地良い「ふれあい広場」、花で囲まれた「日時計」、子どもに人気の「複合遊具」等の施設が充実しています。また、公園に隣接するスーパー堤防は、散策路やサイクリングロードとしても利用されており、春には沿道に桜が咲き誇ります。

汐入水辺フェスタ

（都立汐入公園）

荒川区に隣接する隅田川の水辺空間を、ゆったり楽しむことをコンセプトにしたイベントです。水辺カフェやロードトレイン・パフォーマンスショー・体験イベント等が行われます。

｜開催時期｜９月上旬

色とりどりのバラが咲く
都電荒川線
三ノ輪橋停留場

荒川区産業経済部観光振興課

〒116-8501　東京都荒川区荒川 2-2-3
TEL 03-3802-4689

荒川区ホームページ
https://www.city.arakawa.tokyo.jp/

荒川区 twitter
@arakawakukoho

荒川区 facebook
https://www.facebook.com/city.arakawa

令和2年3月発行　登録(01)0084号